

リサイクル体験会 レポート！

文京学院大学の学生さんが東京 RSC センターにて
工場内部の見学や携帯電話の分解作業を体験！



2018年8月8日、文京学院大学の学生さんがリーテック株式会社 東京 RSC センター（TRC）を訪ねていただきました。工場内部の見学、リサイクルについての説明、携帯電話の分解作業など、実際に体験することで、リサイクルを身近なものに感じていただきました。



1



工場内部の説明

まずはじめに、工場内部の説明を受けます。基本的な情報を得てから見学に出発！

2



工場内部の見学

実際に破砕の様子を見学。大きなシュレッダーが基板を細かくしていきます。



3



リサイクルについて学習

3R（リデュース・リユース・リサイクル）の必要性やリサイクルに関する社会問題について勉強します。

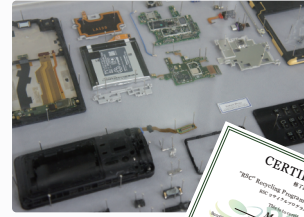
4



携帯電話の分解作業

特殊工具を使って、携帯電話を分解。いつも使っている機能はこんな部品からできているんだという発見も！

5



標本が完成！

全部の体験を終えると、修了証がもらえます。



TRC 内に『RSC セミナールーム』が完成！

使っていなかった部屋をリノベーションして、ショールームを兼ねたセミナールームにしました。壁を塗り替えたり、基板を陳列したり、ポスターを掲示するなど、作業は全て TRC のメンバーで行いました。机やショーケース、モニターなどの備品も回収品を利用するなど、リユース度の高いショールームになっています。今後も TRC では体験会を実施し、多くのお客様へリサイクルの大切さを伝えていきます。

文京学院大学 × リーテック 8/18 文京区主催の「ステージエコ」へ出展しました。



ステージエコはリユース・リサイクルを促進するためのイベントです。会場ではフリーマーケットが開催され、各家庭で不要となった生活用品を持ち寄り、必要とする人に安く譲ることで、資源の再利用とごみの減量を促進していました。文京学院大学とリーテック合同のブースでは、リサイクルの必要性などを書いたパネルの展示やクイズを実施。リサイクル体験会で作成した「携帯電話の標本」も来場者に好評でたくさんの質問をいただきました。

次回は10/27に文京区主催の環境イベントへ出展するので、今回以上に楽しいブースになるよう、学生と一緒に企画内容を検討していきます。

リーテックのセールス業務に1日密着！

リーテックの営業は2種類あります。お客様から不要機器を買取らせていただくBD（Business Development）と買取りした製品を販売するSales。買取った製品はきちんとデータ処理（専用ソフトによる上書き消去・磁気破壊・物理破壊）や細かな点検作業を行い、お客様の要望に沿ってリユースもしくはリサイクルされます。今回は、リユース製品として価値の高い状態で市場に再出荷することができる「国内Sales」担当の神野さんに密着し、日ごろどんな商談をしているのか取材してきました。その中の一部を皆さまにお伝えします！

ある日の神野さん



今回は商談に1日密着しましたが、Salesの業務はこれだけではありません！

Sales業務の流れ



次回のRT JOURNALでは検品作業の様子と納品についてのレポートをお届けします！

リーテックが販売する製品は、お客様から買取ったIT/モバイル機器です。そのため、入荷が決まってからでないと製品の種類や数量が確定しません。しかし、国内リユースできる製品は鮮度が求められるため、価値が高いうちに販売するにはスピーディな対応が求められます。Salesはお客様の希望納期にあわせられるように、BDや処理を担当するセンターと密に連絡を取り、対応をします。また、最後まで販売する製品に責任を持つため、倉庫で行う製品の検品作業の確認を行い、納品もドライバーと一緒に各取引先様の工場までお届けしています。今後もお客様や社内のメンバーとコミュニケーションをうまく取りながら業務を進めていきたいと思っています。



営業部 部長
神野 昇

編集後記



昨年から実施したいと騒いでいた、工場見学を無事に開催することができました。TRCの皆さんやマテリアルunitの皆さんが、いろいろと協力してくださり、私の想像を遥かに超える「RSCリサイクル体験会」ができました。本当に感謝しております。この8月で、私が入社して1年が経ちました。今後も新しいことにチャレンジしていきたいと思っていますので、引き続きご協力のほど宜しくお願いします！

CSR 小野 真菜